

## 新潟県長岡地域振興局長賞

### 大人からの「期待」

長岡市立江陽中学校

三年 福本 雫

約百十二万二千円。これは何の金額だろうか。これは、私たち中学生一人当たり、一年間にかかる教育費である。驚くほどの金額である。この金額は税金によって賄われている。

私は今まで、税金について深く考えたことがなかった。買い物に行くと取られる消費税は面倒だと思っていたし、何のためにあるのだろうと思っていた。しかし、今はそう思わない。なぜなら、税金は私たちの生活になくてはならないものということが分かったからである。

もし、税金がなかったら医療費だって、教育費だってものすごく高くなってしまふ。それに、図書館などの公共施設がなく、信号や標識などの安全に関わるものがなくなってしまふ。つまり税金は大切なのである。

また、世界の子供の約五人に一人にあたる三億三千万人近くの子供が学校に通うことができている。日本では学校に行くことは「当たり前」のこともかもしれない。だが、世界では「当たり前」ではない。学校に行くことができるのは幸せなことで、「当たり前」ではないのである。

「この教科書は、これからの日本を担う皆さんへの期待をこめ、税金によって無償で支給されています。大切に使いましょう。」全

ての教科書に記されているこのメッセージが、教育にたくさん税金が使われている理由の答えだと思う。今の日本を担っている大人たちから、未来の日本を担っていく私たちへの期待が、教育のための税金に込められている。

では、大人たちの期待に応えるためには何ができるのか。それは、教科書などの物を大切に扱うことだ。よく、教科書に落書きをしている人を見かける。今までの私なら何とも思わなかった。だが、今は違う。教科書に落書きをしているということは、教科書を大切に扱っていないことになる。つまり、期待に応えられないということだ。もし、この先、教科書に落書きをしている人を見かけたら、注意できるようにしていきたい。

私たち中学生が、唯一納めることができる「消費税」。私は、消費税を嫌がらず、協力的に納めることが、大人への恩返しになるのではないかと考えた。そして、税金を納めることができるようになったら、協力的に納めて、未来の子供たちにいい教育を受けさせられるように、また、社会に貢献することのできるようなよき納税者になりたい。そのために、今は精一杯勉強し、大人の期待に応えられるようにしていきたい。